

## 特集2

## ギラギラやる気 -----チャンスをつかめ！

亀山 英昭

兼ねてから関心のあった榎テクノ・メイト、ようやく出陣となりました。取材当日は猛暑の真ただ中、七夕宜しく一年越しの思いの募った取材ですから暑さなんてなんのその、やる気はあるけど、、、。しかしあまり行きなれない大阪南方面、「おやつは¥300まで果物はのぞく」などと大騒ぎのうちに編集部紅一点我がなでしこ姉さんと定刻ぎりぎりの「南海高石駅」に到着。

まずは先方にお電話を。聞きなれた大縄氏の毎度穏やかな声が、彼とは大手パソコン通信の主催するオフ（懇親会）に出席して、たまたま隣り合わせにグラス傾けて以来のつきあい？かなあ、用のある時の大縄とでも言うべく強引な付き合いを続けている訳で、今回の取材も含め全く感謝！感謝の大縄さんです。（ハコ）

二人してしっかり道順を伺ったはずなのに、あれれえ、もしかして迷子？「角を曲がるとNECの看板が見えますのでえ」は何処へ？「無いねえ、無いねえ」取材前にしっかりいい汗掻いて、お調子者はどこへ行く。

「あったよお〜っ」のなでしこさん、ピンポンッ！のインターフォン、お電話ではすでに気さくそうなお声を伺っているものの、社長さんとのご対面はさすがにククッと体がしまる緊張感だ。

「榎テクノ・メイト！」は大阪高石市に会社をおき、通信販売を媒体にコンピュータ関連機器を中心に商品の提供を勧めてられますが、ここまではよくある話で、パソコン雑誌の後ろにはドドッと群れして載ってます。



ところがどっこい、気さくな声の仁木三郎（社長）さん、ご自身が視覚障害者でここに勤めておられる社員さんも視覚障害者である。当然私は関心を持つ訳で、、、。

「まあまあ、よくいらっしゃいました」の社長の声は、（よかったあ、極めて明るくきさくなご様子）、さっきのククッは何処へやら「どもども今日はお世話になります。早速ですが、、、」挨拶そこそこ矢継ぎ早の質問始まり始まり。

視覚障害でパソコンをいじって些少なりともおまんま頂戴している私ですが、晴眼者の進出が半数を越えた現在でも視覚障害=はり・灸・あんま・マッサージというイメージは拭えない。その中で仁木氏

は会社まで起こして幅広い営業をされている。私が言うのは生意気かも知れないが、仁木氏のバイタリティはお電話でお話させて頂いて充分伝わってきていたし、この機会に隔々まで聞いてみたい。

会社を設立されたきっかけは何だろう？伺ってみるとどンドン飛び出すバイタリティ、そもそもはパソコン愛好家が集まり極親しい仲間情報交換などされていたところへ、視覚障害の中にまだまだ広がり始めたばかりのパソコンのこと質問やら問い合わせが仁木氏を初めメンバーに殺到、音声装置などはご近所の電気屋さんで簡単に手に入るはずもなく、大阪日本橋に近いということもあり、買い出しの依頼まで入るようになったらしい。

最初はそんな調子で仲間うちの輪が広がったものだったようですが、仁木さんのバイタリティ、こんなに困っている人もいることだし、片手間ではメーカーとのつながりも築きにくい、まとめて情報も機器もソフトも提供してしまえっ！とばかりに昭和63年9月、当初のメンバー5名を役員に据え、資本金300万で㈱テクノ・メイトが設立されることとなったが、商売優先というより自ら職場の開拓という意志が強く、職に付けない障害者の職場にすることを一つの目標に掲げスタートをきったとのこと。

ここで再びの大縄さん登場、くどいようだが彼も視覚障害で盲学校の高等部を卒業の後、音大へと進むが大学卒業時には彼の希望する道での就職は出来ずブーさんとなった。しかしチャンスとは何処にあるかも知れず、仁木氏の主催するグループに参加していた大縄さんにしっかり白羽の矢、パソコンには当然関心を持っていた彼ですから、晴れて㈱テクノ・メイトの社員となり、彼の他に弱視の女性1名を加え2名が正社員として雇用、㈱テクノ・メイトの幕開けだ。

業務の内容は当然視覚障害を持つ社員が行う訳で、納品書や領収・顧客管理、経理などの一般事務に至っても、全て音声や点字プリンタで対応する自社のシステムを開発し、ユーザーのニーズもありパソコン関連商品以外に日常生活品やオーディオ機器なども取扱い、サービスの充実、拡大を計っている。現在取扱い商品の数はなんと1000種を超えるほどになり、スタート時の二人では手に終えず社員も増え4名が勤めておられ、資本金も昨年秋に

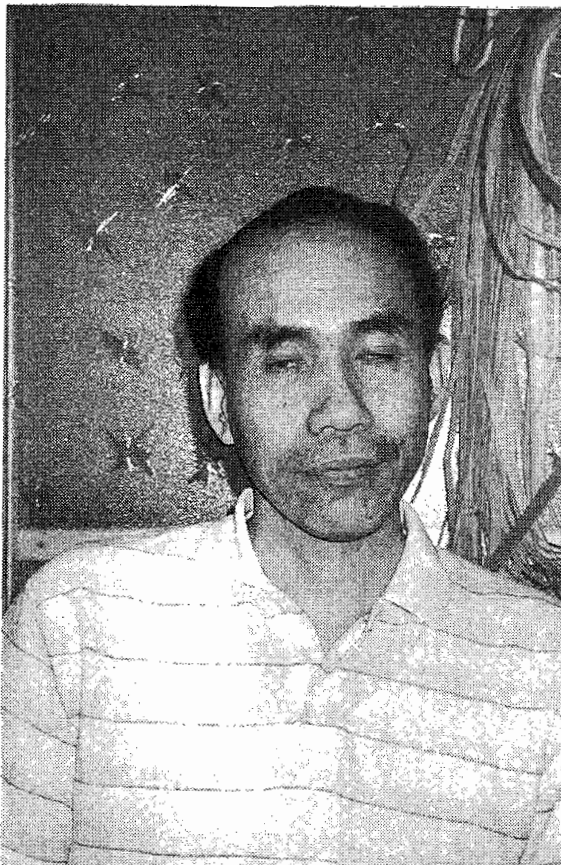


<納品伝票を点字と墨字で作ってしまう！>

は1000万になり、年商は1億に手が届くそうだが、今後も常に規模を広げ、障害者多数雇用事業所を目ざしておられるようだ。

特にソフトの開発に力を入れ、将来的にはソフト・バンクなども展開し、「把握されていないが、まだまだ能力がありチャンスに恵まれない障害者も多いはず、何らかの手助けになれば」、また「障害を持つ一人一人が、もっと積極的に企業や社会へアピールし、自らチャンス築いて欲しい、それが今後の職域拡大へともつなげるのではないか」と社長の意欲が感じられる。

先にも書きましたが、視覚障害者関連以外にも多数商品があり、月に一回商品情報のテープも発行されている。何かと便利な商品が手に入るかもしれません。気軽に質問にも答えてくれることだろう、関心のある方はご一報!! 自社のパソコン通信のシステムアップも現在進行中とか。



< 仁 木 社 長 >

(株)テクノ・メイト

問い合わせ

TEL (0722) 62-0845(代)

FAX (0722) 62-0898

FLANKER編集部 亀山